

事務事業実績測定調査

R5調書番号 80

事務事業名称	開発行為等に伴う寄附・帰属等道路処理事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部		課	道路河川管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業	
事業期間	2004(H16)年度			年度	～	年度まで		
根拠法令等	都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例、決裁							
関係補助金名称					サンセット		～	
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	開発事業等に伴い開発業者等が整備する道路施設を市へ移管することにより宅地等の土地利用を図りたいと計画する人。						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づいた手続きが求められている。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	開発行為等に際し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続きに関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図れている。							
事業概要	開発行為等に際し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続きに関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
			開発行為等に対し、各法令等に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。	開発事業等に関し、法令等に基づいた手続きを実施する。
指標設定	指標説明		協議が完了した件数	法等に基づく協議件数
			単位 件	単位 件
	指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)		300 300 300 300	300 300 300 300
	実績		274 286 257 230	274 286 257 230
達成度			77%	77%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,714	14,843	15,001		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,714	14,843	15,001		
	物件費計	1,310	11,343	0	1	0.0%
歳出計		17,024	26,186	15,001		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,310	4,501	509	428	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	329	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,310	4,830	509	428	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	6,513	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	開発行為は社会情勢等の影響を受けやすいものであり、指標数値は目標に達していないが、協議申請受付分については、適正かつ円滑に事務を行うことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	法令や条例、その他要綱等に基づき、開発者等と道路構造形状等の協議を行い、良好な道路の環境整備に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 81

事務事業名称	道路等管理事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004 (H16) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	道路の管理瑕疵による事故がないようパトロールを継続的に実施し、道路の安全確保を維持する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	安全で利便性の高い道路が維持できている。				
事業概要	規制を行うための路線認定行為 道路の管理瑕疵による賠償 第三者による道路施設の損傷行為について現状復旧のための原因者に対する指導 年2回の道路一斉パトロール				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
			路線認定行為を通じて、道路機能を確保する。	規制を行うため、路線認定行為を実施。
指標設定	指標説明	市が管理する道路延長に対する 認定路線延長率 【算出式: 認定路線道路延長／市 が管理する道路延長×100】	認定路線道路延長	
			単位	%
	指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値		R2	R3
	目標 (見込み)		70	70.10
	実績		69.70	69.82
達成度			100%	80%

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						発生した瑕疵に対し、適切に賠償を行う。				道路管理瑕疵に基づく賠償を実施。			
指標設定②	指標説明					道路瑕疵に対する賠償対応率 【算出式:道路瑕疵による事故件数/賠償件数×100】				道路管理瑕疵相談件数			
							単位		%		単位		件
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	5	5	5	5
	実績					100	100	100	100	14	6	2	5
達成度						100%				100%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						道路施設損傷の原因者負担による施設復旧工事を行う。				道路施設の損傷行為について、原因者に対し、復旧指導を行う。			
指標設定③	指標説明					損傷行為に対する復旧件数				道路施設の損傷行為に対する指導件数			
							単位		件		単位		件
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					150	150	150	150	150	150	150	150
	実績					167	176	54	46	167	176	54	46
達成度						169%				169%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.30
再任用	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	40,272	36,179	34,114		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	40,272	36,179	34,114		
物件費計		23,676	20,892	65,027	99,112	65.6%
歳出計		63,948	57,071	99,141		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	20,353	20,890	508,551	508,590	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3	2	3,088	3,071	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	20,356	20,892	511,639	511,661	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,320	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	件数の減少している事務があったものの、業務処理に時間がかかったため人員は例年通りとなった。 路線認定数 54件、道路管理瑕疵に基づく賠償 0件、道路施設損傷 46件 放置自動車等調査 1件、不法投棄処理 54件
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続して効率的な事務執行を行う。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 82

事務事業名称	道路占用・掘削許可事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	道路法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	土地利用を計画される人または事業者で道路許可を必要とするもの。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令等に基づいた手続きが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。				
事業概要	道路法の規定に基づき、道路における電気、ガス、水道、下水道等の占用申請について、警察と協議しその許可を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			申請時または事前に協議を行い、 手続きの進行がスムーズにできている。				道路占用・掘削に関する許可申請 を受け付ける。			
指標設定	指標説明		申請に対する処理完了件数				許可申請件数			
				単位	件			単位	件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	実績		2,469	2,417	2,114	2,135	2,469	2,417	2,114	2,135
達成度			85%				85%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,178	9,877	8,685		
	会計年度任用職員	0	1,232	997		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,178	11,109	9,682		
	物件費計	0	0	0	10	0.0%
歳出計		12,178	11,109	9,682		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	10	

5. 総括的分析

総括的分析	例年と比較して申請件数は少なかった。 道路占用許可申請 1184件 道路工事施行承認申請 251件
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 83

事務事業名称	法定外公共物整理事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市法定外公共物の管理に関する条例、地方分権一括法、決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	法定外公共物の利用者、隣接者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	境界確定が成されていないものが多く、機能の有無を判定するにあたり、法定外公共物の位置の特定が困難である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	現に公共の用に供されている法定外公共物(里道・水路)の譲与受けが完了し、適正な機能管理ができている。				
事業概要	機能を有する法定外公共物(里道・水路)の未譲与物件について追加譲与申請を行い、現況機能に応じた管理を行う。機能のない譲与受物件について、隣接者から払下げ申請があれば用途廃止を行い処分手続きを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						現況機能に応じた管理ができてい る。				里道・水路の機能の有無により、譲 与申請や用途廃止申請の受付を 行う。					
指標設定	指標説明					各申請に対する完了件数				追加譲与・用途廃止の申請件数					
					単位	件	単位	件							
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						10	10	10	10	10	10	10	10
実績						2	5	9	10	2	5	9	14		
達成度						100%				140%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,464	4,687	4,737		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,464	4,687	4,737		
歳入	物件費計	214	198	0	385	0.0%
	歳出計	7,678	4,885	4,737		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	214	385	3,593	3,523	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	214	385	3,593	3,523	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	開発事業や公共事業に伴う追加譲与の相談が想定よりも少なかった為、全体の件数としては目標数値に達しなかったが、全体数値は増加した。相談の受付分については円滑に事務を実施できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	追加譲与の件数は、今後大きく増加することはないと思われるが、用途廃止については今後も増加すると想定されるため、相談があれば調査を速やかに行い、円滑な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 806

事務事業名称	河川・水路・法定外水路境界明示事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011(H23)年度	年度	～	年度まで	
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、枚方市手数料条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所有する土地の売買や開発等に当たっては、隣接道路等との境界を確定する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界確定についてスムーズな手続きができています。				
事業概要	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置を協議のうえ定める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが来ている。				準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、既明示証明申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明		既明示証明申請に対する対応件数				既明示証明申請件数			
			単位 件				単位 件			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		15	15	15	15	15	15	15	15
	実績		11	20	20	22	7	18	15	22
達成度			147%				147%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						申請に対し、その土地と水路等の境界について、スムーズな手続きが来ている。				準用河川・法定外公共物に隣接する土地所有者より、新規明示申請を受け付ける。				
指標設定②	指標説明					新規明示申請に対する対応件数				新規明示申請件数				
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					44	67	85	81	44	67	85	81
		達成度					116%				116%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.80
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12, 633	24, 947	23, 617		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	12, 633	24, 947	23, 617		
	物件費計		309	532	239	591	40. 4%
	歳出計		12, 942	25, 479	23, 856		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		309	422	1, 072	4, 683	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		309	422	1, 072	4, 683	
一般財源（物件費に充当されるもの）			0	110	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、目標を超える達成度となった。指標に含んでいないが、既明示証明申請件数も昨年度に比べ増加している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請があれば速やかに調査・調整を図り、円滑かつ適正な事務執行に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 807

事務事業名称	準用河川等管理事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011 (H23) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、同施行規則、枚方市準用河川占用料条例、同施行規則、枚方市準用河川の管理に関する規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川の利用者、隣接者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	準用河川等の適切な管理を求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	河川法を遵守した土地利用ができています。				
事業概要	準用河川の河川法に基づく許可及び準用河川占用料の徴収 法定外公共物(水路)の使用許可及び使用料の徴収 国、府の管理する河川、水路等の占用許可の経由事務 準用河川、法定外公共物(水路)に関する苦情、要望、事故等の処理事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			各申請に対し、適切に対応する。				準用河川、法定外公共物、国、府の管理する河川、水路等の占用許可申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明		申請に対する対応件数				申請件数			
			単位				単位			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		25	25	25	25	25	25	25	25
	実績		254	354	323	282	254	354	323	282
達成度			1128%				1128%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②						苦情、要望、事故等に対し、適切に対応する。				準用河川、法定外公共物に関する苦情、要望、事故等を受け付ける。			
指標 設定 ②	指標説明					苦情、要望、事故等の対応件数				苦情、要望、事故等の件数			
							単位	件			単位	件	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					10	10	10	10	10	10	10	10
	実績					28	158	53	103	28	158	53	103
達成度						-830%				-830%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.20
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,145	22,339	6,483		
	会計年度任用職員	0	1,578	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,145	23,917	6,483		
	物件費計	0	0	0	10	0.0%
歳出計		18,145	23,917	6,483		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	2	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	2	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	8	

5. 総括的分析

総括的分析	申請件数が増えたため、見込みより多くの人員を配置することとなった。 河川法申請 12件、法定外公共物使用許可等申請 314件、法定外公共物施行承認 10件、国や府の管理経由事務 14件、河川等明示 81件
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 808

事務事業名称	中部別館維持管理事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	土木部中部別館で勤務する職員			
	サブターゲット	市民、事業者			
	ターゲットが抱える課題	庁舎機能が不全であると業務効率が低下するとともに、災害時の機能維持が困難になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	庁舎を適正に維持管理し、効果的・効率的に活用することで、業務水準の維持が図れるとともに、緊急時、災害時の機能確保が可能となる。				
事業概要	土木部中部別館の庁舎（事務所及び車両・資材置き場）としての機能等を確保するため維持管理業務を行う。 施設の維持管理上必要な保守点検については、施設総合管理委託等を導入し、より効率的に実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
ロジックモデル						中部別館が適切に維持管理できている。				中部別館の維持管理に係る保守点検を計画的に実施する。					
指標設定	指標説明					施設の不具合等の改善率 【改善数／保守点検で判明した不具合等の数】				維持管理に係る保守点検の実施回数					
						単位	%		単位	回					
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100以内	100	100	100	52	52	52	52
実績						89.65	80	25	45	51	55	36	40		
達成度						45%				77%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,657	9,765	11,843		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,657	9,765	11,843		
歳入	物件費計	38,941	24,483	14,269	16,627	85.8%
	歳出計	44,598	34,248	26,112		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		38,941	24,483	14,269	16,627	

5. 総括的分析

総括的分析	平成30年に発生した大阪北部地震による建物の破損や老朽化が著しい状態である。本年度に関しては、トイレの修繕、防災設備及び換気設備の改修を行った。、法定点検や施設の老朽化に伴う修繕工事等を今後も適宜実施していく必要があり、優先順位を考慮したより効率的な予算執行が求められる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	施設の老朽化に伴い、今後、修繕費用の増大が見込まれるため、安全面、業務への影響性等を考慮しながら計画的に対応していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 812

事務事業名称	枚方市道路長寿命化計画事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011 (H23) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	道路法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路の利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	突発的な補修が発生した場合は多大な財政負担が発生することになり、迅速な補修に影響を与える。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	計画に基づいた点検、修繕を実施し、持続可能な道路施設の維持管理が継続できており、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	枚方市道路長寿命化修繕計画として、メンテナンスサイクルを確立し、道路施設全般の維持管理に関する基本方針を示す。 また、個別施設計画に基づき、効率的・効果的で持続可能な道路施設の維持管理を推進する。 (橋梁長寿命化修繕計画事業を統合)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						「枚方市道路長寿命化計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「枚方市道路長寿命化計画」に係る事務を実施する。			
指標設定	指標説明	道路施設点検を完了した箇所数				計画に基づく道路施設点検必要箇所数							
						単位	箇所			単位	箇所		
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					30	142	63	76	30	142	63	76
	実績					30	142	62	76	30	142	62	76
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	6,406	4,737		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	6,406	4,737		
	物件費計	22,636	19,272	47,236	75,300	62.7%
歳出計		25,779	25,678	51,973		
歳入	国庫支出金	10,736	7,352	15,323	21,404	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	10,736	7,352	15,323	21,404	
一般財源（物件費に充当されるもの）		11,900	11,920	31,913	53,896	

5. 総括的分析

総括的分析	計画通り実施することができた。
-------	-----------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	計画に基づき、道路施設の点検を実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 946

事務事業名称	道路河川管理課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	道路公園管理課所管事務に従事する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事務の適正かつ効率的な運営の継続			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	事務の適正かつ効率的な運営の維持				
事業概要	1. 予算及び決算に関する事務 2. 行政評価及び事業計画等に関する事務 3. 物品の契約及び整理、保管に関する事務 4. 職員の休暇及び服務に関する事務 5. 文書の收受、発送及び整理、保管に関する事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.50
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.70
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,821	22,489	20,241		
	会計年度任用職員	3,132	1,232	1,739		
	特別職非常勤	4,523	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	28,476	23,721	21,980		
	物件費計	864	11,343	2,430	2,860	85.0%
歳出計		29,340	35,064	24,410		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	774	1,203	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	76	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	850	1,203	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		14	10,140	2,430	2,860	

5. 総括的分析

総括的分析	道路台帳のインターネット閲覧に誘導することにより図面発行の件数は減少した。 道路等関係図面等写しの発行事務 2166 件 意見、要望等の処理事務 679 件
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続して効率的な事務執行を行う。